

令和6年 第10回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

公 開 部 分

令和6年 第10回宮崎市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和6年10月23日（水） 13:40～15:00
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 【教育長・教育委員】  
黒木教育長、松尾代表教育委員、片山教育委員、小林教育委員、高峰教育委員  
【事務局】  
教育局長  
（企画総務課）河野課長、比江島補佐、田中補佐、佐藤主幹、中村主事  
（学校施設課）齋藤課長  
（学校教育課）西川補佐  
（教育情報研修センター）栗原所長、黒田次長、林主任主事  
（保健給食課）弓削課長  
（文化財課）井田補佐

4 報 告

番 号	件 名	説 明 者
報告第27号	臨時代理の報告について	教育局長 企画総務課長 学校施設課長 文化財課長
報告第28号	令和6年第6回宮崎市議会臨時会（10月）の報告について	教育局長
報告第29号	令和6年度第2回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について	学校教育課長
報告第30号	教職員の事案の報告について	学校教育課長
報告第31号	GIGAスクール構想第2期における学習者用コンピュータのOS選定について	教育情報研修センター所長

黒木教育長	<p>それでは定刻になりましたので、ただいまから、第10回教育委員会定例会を開会します。本日の傍聴者はいません。</p> <p>会次第「2 会議録署名人の指名」です。</p> <p>本日の会議録の署名人は、私黒木と、松尾代表教育委員を指名させていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
教育委員	異議なし。
黒木教育長	<p>会次第「3 行事報告等」に入ります。</p> <p>「(1) 教育長報告」については、記載のとおりです。このうち、9月25日から26日にかけて行った「先進地視察」について報告します。</p> <p>公立の不登校特例校である岐阜県立草潤中学校と京都市立洛友中学校を視察しました。このうち岐阜県立草潤中学校について報告します。</p> <p>草潤中学校は、令和3年度に不登校特例校として開始しました。年間授業時数が770時間です。個別に相談しながら学習教科や授業時間数を決め、在宅での学習も可能です。担任は5月に生徒自身が選びます。登校をし、個別に学習指導や相談をする「通級支援」とオンラインで学習指導や相談をする「オンライン支援」の2コースあります。</p> <p>資料に記載されている校時程は、週に2回程度登校する生徒のもので、起立性調節障害等の様々な特性をもつ生徒に配慮して、開始時間が遅めになっています。「セルフデザイン」や「クールダウン」等も校時程に含まれています。</p> <p>学校には、図書室にリラックススペースを設けたり、個別の学習スペースが用意されたりしています。</p> <p>草潤中学校の基本的なポリシーは、自己選択を基本とすることで心身の安定を取り戻し、生徒の自己選択・決定に教師が寄り添うことです。</p> <p>教員は県内で異動しますが、今までと同じ授業をすると、生徒が離れていくと感じているそうです。学び方や授業を変えていく必要があると話していました。育てたい力は、「セルフコントロール」「セルフデザイン」「ソーシャルスキル」とのことです。この力は、宮崎市の学びの多様化学校でも重視していく力になります。</p> <p>開校して4年で、卒業後の進路としては、公立や私立の全日制高等学校に3名、公立や私立の通信制、定時制の高等学校へ11名です。何らかの形で学びの継続や社会との繋がりをもって卒業しています。</p> <p>宮崎市の学びの多様化学校については、12月に説明会を行います。</p> <p>続いて、「(2) 委員報告」については、記載のとおりです。</p> <p>まず、10月4日に「宮崎市総合教育会議」がありました。教育委員の皆様から感想等をお願いします。</p>
高峰教育委員	<p>この機会に、包括的性教育に関する本を読みました。自立を促し、NOとすることができる教育を普段からしていくことが大事だと思いました。</p> <p>加えて、今はインターネット等で非常に危険な環境に晒されやすいと考えています。必要な子ども、障がいのある方等、意思表示が難しい方をど</p>

	<p>のような形で守っていくのが重要だと思いました。</p>
片山教育委員	<p>望まない妊娠や性感染、子宮頸がん等、幅広い視点で、幼い頃から教育をしていくことが大事だと思いました。性行為だけではなく、性行為に付随してどのようなことが起こるのか、そこに至るまでに学んでおくべきことは何か、年齢に応じた教育をしていく必要があると考えました。学校だけではなく、発達の段階に応じて、どのようなことを伝えるのが良いか、諸外国の事例も含め参考にしていけたら良いと思います。学校で収まる話ではないと思います。</p> <p>今の私たち保護者の年代は、「フェムケア」という言葉が社会的に流行しており、関心を持っている大人、女性、保護者の方が多いと思います。今の時代に、包括的性教育を進めていくのはとても良い機会だと思います。</p> <p>性虐待が分からない子ども達もいます。小学校での教育も大事ですが、市と協力して、2歳か3歳頃から、包括的性教育について伝える環境があれば良いと思います。自分を自分で守っていくことに繋がるため、包括的性教育という視点は非常に重要です。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>市長部局と連携して、施策や取組に結び付けていきたいです。</p> <p>次に、10月17日から10月22日にかけて「地域・家庭と教育委員会との意見交換会」「若手教員と教育委員会との意見交換会」「中学生と教育委員会との意見交換会」がありました。</p> <p>教育委員の皆様から感想等をお願いします。</p>
小林教育委員	<p>まず、「地域・家庭と教育委員会との意見交換会」についてです。特に、学校運営協議会についての話題が印象に残りました。令和5年度までに全ての学校に学校運営協議会を設置できたことは非常に評価できます。一方で、「どのように行動を起こしたらよいか」「何をしたらよいか」という具体的な課題や意見が出た意見交換会でした。また、第三次宮崎市教育ビジョンをどのように構築していくかについても具体的な意見がありました。</p> <p>次に、「中学生と教育委員会との意見交換会」についてです。子ども達の学習が変化しています。変化に合わせて、やる気も満ちているようでした。多様性を認め合い、学習観が変わってきているということ、私たちも大事にしていきたいです。中学生の思いを実現するためにも、この第三次宮崎市教育ビジョンの柱が重要であると考えています。</p> <p>最後に、「若手教員と教育委員会との意見交換会」についてです。肯定的な意見だけではなく、「新しいものに対して抵抗感をもっている教員もいる」という否定的な意見もありました。これからの取組については、視点を明確にして示すことが重要だと思いました。</p>
松尾代表教育委員	<p>本日、宮崎港小学校を訪問しました。多くの授業で、タブレットを活用されています。自由進度学習も行われていました。</p> <p>新しい教育改革が行われる時には、必要性や背景をしっかりと共有する</p>

	<p>こと、条件整備が大事だと思います。</p> <p>包括的性教育についても、カリキュラムの位置づけや関係機関や専門機関との連携について、整備をしていく必要があります。また、学校の中で包括的性教育が大切であるという雰囲気をつくっていくことが必要だと考えています。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、「(3) 教育局長報告」です。このうち「令和6年第6回宮崎市議会臨時会(10月)」についての報告は、後ほど議事の報告の中でお願いいたします。</p> <p>続いて、「(4) 各課行事報告等」です。このうち、「①学校教育課」の行事から「第2回宮崎市いじめ防止対策委員会」についての報告は、後ほど議事の報告の中でお願いいたします。</p> <p>続いて、「宮崎市立ひなた中学校 入学式(10月入学者)」について、事務局から報告をお願いします。</p>
西川学校教育課長補佐	<p>2学期の始業日にあたる10月16日の1時間目に、始業式とあわせて10月入学者の入学式が行われました。入学者に関しては、1年生が2名、2年生が1名であり、在籍者数は4月入学者とあわせて1年生が18名、2年生が1名、3年生が1名となっています。</p>
黒木教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>これまでの行事報告に対する質問や各行事に参加された委員の皆様でお気づきになった点、これからの課題、また感想等がありましたら、お願いします。</p>
松尾代表教育委員	<p>ひなた中学校の10月入学者について、年代等も分かれば教えてください。</p>
西川学校教育課長補佐	<p>10代の方が2名、30代の方が1名の計3名です。</p>
小林教育委員	<p>また、現在の在籍者は何名ですか。現状等も教えてください。</p>
西川学校教育課長補佐	<p>在籍は、20名です。なかなか通学できていない方もいますが、タブレット等を使い、自分で学習をしている方もいます。順調に学んでいるとの報告を受けています。</p>
黒木教育長	<p>入学当初から来れていない方が1名います。また、最初に1回程度登校し、以降はなかなか来ることができていない方もいます。基本的には、継続して学びが行われている状況です。</p> <p>それでは、「4 議事」に入らせていただきます。</p> <p>本日は、議案はありません。報告が5件です。</p> <p>はじめに、報告第27号「臨時代理の報告について」と報告第28号「令和6年第6回宮崎市議会臨時会(10月)の報告について」は関連しますので、一括して事務局から説明をお願いします。</p>
森屋教育局長	<p>本来、教育予算について議会に諮る前に教育委員会にて承認を得なければならないのですが、本件に関しては急を要することから、宮崎市教育委員会事務委任規則第4条に基づき議会に提案し、10月7日から8日にかけて</p>

	<p>て行われた宮崎市議会臨時会にて承認を得たものになります。</p> <p>まず、歳出についてです。「台風第10号災害関連小学校被災物品整備事業」などの計6件の事業、合計6,919万2千円を計上しています。今回計上している6件は、令和6年8月に発生した日向灘を震源とする地震や、台風第10号に伴う災害復旧事業です。</p> <p>次に、歳入についてです。国の補助金から2,500万円、市債から3,970万円、合計6,470万円を見込んでいます。</p> <p>個別の事業については、担当課から説明します。</p>
河野企画総務課長	<p>企画総務課は、「台風第10号災害関連小学校被災物品整備事業」と「台風第10号災害関連中学校被災物品整備事業」です。小学校が148万6千円、中学校が133万6千円を計上しています。</p> <p>台風で様々な被害がありましたが、企画総務課では備品類、消耗品類等について、新たに購入をしたり、修繕をしたりする際に必要な経費を計上しています。小学校は9校が対象で、カーテンやビニールハウス等の破損への対応です。中学校は3校が対象で、ビニールハウスやサッカーゴール等の破損への対応です。</p>
齋藤学校施設課長	<p>学校施設課は、「中学校災害復旧事業（台風台10号災害関連）」です。台風で被災した青島中学校の体育館の屋根の復旧工事及び被害を受けた体育館のアリーナの床、ステージ、放送室、放送設備、照明器具等の復旧工事です。</p> <p>補正額は、5,600万円です。財源は、国庫補助金が3分の2、残りが市債です。</p>
井田文化財課長補佐	<p>文化財課は、「文化財修復整備事業」として、165万円です。8月8日に発生した日向灘地震において、市指定文化財の「旧阪本家」が被害を受けています。一階の鴨居や二階の天井部分と壁のつなぎ目部分等で歪みが確認されています。適切な保存活用を図るため、耐震診断を実施します。</p> <p>続いて、「生目の杜遊古館災害復旧事業」として、680万円です。8月8日に発生した日向灘地震により、施設各所が被害を受けています。特に、来館者への影響が懸念される体験学習棟のひび割れ部分の復旧工事を実施します。</p> <p>最後に、「指定文化財災害復旧事業」として、192万円です。令和6年台風第10号の影響より、県指定有形文化財「旧二見家住宅」の主屋が被災しています。主に破損した納戸の天井部分の修繕を実施します。</p>
森屋教育局長	<p>引き続き、報告第28号「令和6年第6回宮崎市議会臨時会（10月）について」報告します。</p> <p>令和6年10月7日から8日にかけて開催されました。教育委員会関連の議案としては、議案第98号「令和5年度宮崎市一般会計歳入歳出決算の認定について」、議案第133号「令和6年度宮崎市一般会計補正予算（第9号）案について」の2件です。いずれの議案も、原案のとおり可決、決算については認定されました。決算の認定にあたり、議会側より意見・</p>

	<p>要望がでています。</p> <p>まず、歳入の「児童クラブ事業利用者負担金」について、「当局においては、公平性を確保する観点から不納欠損が発生しないよう滞納繰越分の徴収に注力されたい。一方で、生活困窮により支払いが困難な世帯がいることも考えられることから、福祉的なケアを行うとともに、計画的に返済させるなど市民に寄り添った債権回収に努められたい。」という意見・要望がありました。</p> <p>次に、歳出の「宮崎文化振興協会運営費助成事業」について、「当局によると、運営費助成の対象は、法人の管理運営等の業務に従事する事務局職員に対する人件費等であるとのことであります。通常、指定管理者は指定管理料から運営費用を捻出していることから、当局においては、団体の運営補助に当たる人件費も指定管理料に含めるなど、民間事業者と公平な取扱いとなるよう指定管理の在り方について検討されたい。」という意見・要望がありました。</p> <p>最後に、審査全体について、「審査の過程において、災害復旧に関する事業における被災した施設の写真等の資料が不足しており、追加で資料の提出を求めなければ案件に対する十分な議案審査が出来ない場面が見受けられました。当局においては十分な議案審査が行えるよう、あらかじめ被災した箇所が分かる写真等を添付するなど事業の必要性がわかる資料の提供に努められたい。また、補正予算案概要において、補正額に対する国からの補助や市債などの財源の内訳の詳細が示されていない事業もあり、説明を求めなければ十分な情報が得られない状況が見受けられました。特定財源がある事業については、説明欄に財源の内訳及びその金額を明記するなど工夫されたい。」との意見・要望がありました。</p>
黒木教育長	ただいま説明のありました、報告第27号、報告第28号について、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	質問がないようでしたら、続いて、報告第29号「令和6年度第2回宮崎市いじめ防止対策委員会の報告について」、事務局から説明をお願いします。
西川学校教育課長補佐	<p>令和6年度第2回宮崎市いじめ防止対策委員会を、10月1日に開催しました。はじめに、令和6年4月から8月までのいじめの認知件数、認知状況について説明しました。質疑として、「宮崎市教育委員会として、SNSに関わるいじめの対応状況を調べたことがあるか。」との質問があり、「全体では調査はできていないこと」「宮崎市教育委員会全体でルールも含め、いじめにつながる指導を今後精査する必要があること」を回答しました。</p> <p>次に、「いじめの重大事態の調査に関するガイドラインの改訂」について、説明しました。質疑として、「このガイドラインは学校へ一冊ずつ渡っているのか。」との質問があり、「各学校へデータで送付しているが、職</p>

	<p>員一人ひとりに対して周知・認識してもらうため、宮崎市教育委員会としても時間をとる等の対応をしなければならない。」と回答しました。</p> <p>続いて、「SOSの見逃し0(ゼロ)を目指すいじめ防止等の取組の充実のために～10の提言のポイント～」の見直しについて、説明しました。</p> <p>「いじめ根絶週間の記載があるが、一方的な根絶するというスタンスではなく、いかにいじめを乗り越えるかについて、どのように盛り込むかが課題である。」「発達の特性については、「加害側だった場合の指導上の留意点と、被害側だった場合の指導上の留意点」という形で両方の視点を入れると良いのではないか。」等の助言をもらいました。委員から出た意見等を精査し、次回2月の定例教育委員会で委員の皆様にも見てもらいながら、今年度中に全ての学校に改訂版を示したいと考えています。</p>
黒木教育長	<p>ただいま説明のありました、報告第29号について、質問はありませんか。</p>
小林教育委員	<p>通常、学校では、教育相談上の調査が行われており、実態把握に努めています。あくまでも、SNSに特化した調査を行っていないとの理解でよろしいでしょうか。</p>
西川学校教育課長補佐	<p>その通りです。宮崎市教育委員会として、SNSに特化した調査をしていません。各学校で行っている場合もあります。</p>
小林教育委員	<p>「今後SNSに特化した調査を行う段階にきた」というやり取りだったという理解でよろしいでしょうか。</p>
西川学校教育課長補佐	<p>その通りです。今の状況として、SNS関係のトラブル等が増えています。状況を把握した上で、実施を検討していく必要があると考えています。</p>
黒木教育長	<p>他にないようでしたら、続いて、議案第30号「教職員の事案の報告について」、議案第31号「GIGAスクール構想第2期における学習者用コンピュータのOS選定について」については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
教育委員	<p>異議なし。</p>
黒木教育長	<p>それでは、ただいまより非公開とします。</p>
黒木教育長	<p>それでは、ここで非公開を解除します。</p> <p>続いて、会次第「5 その他」に移ります。</p> <p>まず、(1)「宮崎市メディアリテラシー育成事業・子どもとメディアみやざき講演会」について、事務局から説明をお願いします。</p>
弓削保健給食課長	<p>「メディアリテラシー育成事業」の一環として、県外の有識者を招聘して講演会を実施します。</p> <p>内容としては、日本で最初にネット・ゲーム依存の専門診療を開始した久里浜医療センターの臨床心理士を招き、インターネット依存の現状と治療、家庭や地域での対応のアドバイスについて講演してもらいます。会場は宮崎市民文化ホールです。</p>
黒木教育長	<p>ただいまの説明に対し、質問はありませんか。</p>

教育委員	なし。
黒木教育長	ないようでしたら、続いて、(2)「生目古墳群 d e ピクニック」について、事務局から説明をお願いします。
井田文化財課長補佐	<p>11月16日に生目古墳群史跡公園にて、「生目古墳群 d e ピクニック」を開催します。</p> <p>イベントでは、発掘の模擬体験や土器を破片から組み立てる「土器パズル」のコーナーや「ポニーとのふれあい体験」、「大きなシャボン玉作ろう」等、生目古墳群を遊び場として楽しんでもらう機会を準備しています。また、今年度は一般公開していない「生目1号墳」の特別見学会も実施します。</p> <p>加えて、宮崎県内の小学生を対象とした「みやざき歴史キッズ2024」を開催します。5年ぶりとなるこの大会では、教科書にのっている歴史に加え、宮崎の日本遺産の構成文化財でもある生目古墳群に関する問題を出題します。この大会が、子ども達が宮崎の歴史を学び、故郷に誇りをもつ機会となるよう、丁寧な準備、実施に努めます。</p>
黒木教育長	ただいまの説明に対し、質問はありませんか。
教育委員	なし。
黒木教育長	その他、委員の皆さまから、情報提供等がありましたら、お願いします。
教育委員	なし。
黒木教育長	ないようでしたら、次に、会次第「6 次回教育委員会について」、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	次回定例会は、令和6年11月14日(木)、13時40分から教育委員会室において、お願いしたいと考えています。
黒木教育長	ただいま説明のありました日時で、定例教育委員会を開催しますので、よろしくをお願いします。
教育委員	異議なし。
黒木教育長	続いて、会次第「7 行事予定」について、事務局から説明をお願いします。
河野企画総務課長	<p>10月25日は、「宮崎縣市町村教育委員会連合会 第3回理事会」「県の教育施策に対する県との意見交換会」「宮崎縣市町村教育委員会連合会研究大会」です。宮崎縣市町村教育委員会連合会関連の行事です。</p> <p>10月26日は、「第47回 J A 共済小・中学生書道コンクール表彰式」です。松尾代表教育委員の出席です。同日の夕方からは、「宮崎市制100周年記念式典・祝賀会」です。</p> <p>10月31日から11月1日は、宮崎県えびの市にて、「令和6年度第2回宮崎県都市教育長協議会」です。</p> <p>11月13日は、「全国都市教育長協議会 第4回理事会」です。同日に、「令和6年度第3回宮崎県社会福祉審議会児童福祉専門分科会」があります。片山教育委員の出席です。</p> <p>11月14日は、11月の定例教育委員会の予定です。</p>

	<p>11月22日は、「B&amp;G全国教育長会議」です。</p> <p>11月23日から11月24日は、「市制100周年記念イベント」があります。「宮崎市制100周年記念宮崎市グローバルチャレンジ支援事業」でシンガポールに派遣された生徒による発表を予定しています。</p> <p>12月12日は、「市町村教育委員研修会」です。</p> <p>12月18日は、12月の定例教育委員会の予定です。</p>
黒木教育長	ただいまの説明に対し、質問はありませんか。
教育委員	なし。
教育委員	以上をもちまして、第10回定例会を終了します。